



2026年3月期第 2 四半期 決算概要

2025年11月6日

カシオ計算機株式会社

全社連結実績

単位：億円

	上期（4月～9月）		前年同期比	
	2024年度実績	2025年度実績	増減	増減率
売上高	1,369	1,327	-43	96.9%
営業利益	103	95	-9	91.8%
営業利益率	7.6%	7.2%		
経常利益	99	107	8	108.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	※ 36	81	45	224.9%
1 株利益（円）	15.58	35.30		

※構造改革に伴う特別損失を計上

平均為替 レート （円）	米ドル	152.6	146.0
	ユーロ	165.9	168.1
	人民元	21.2	20.3

セグメント別実績

単位：億円

		上期（4月～9月）		前年同期比	
		2024年度実績	2025年度実績	増減	増減率
時計	売上高	854	857	3	100.4%
	営業利益	122	108	-14	88.7%
	営業利益率	14.3%	12.6%		
コンシューマ	売上高	445	424	-21	95.2%
	営業利益	27	26	-0	98.8%
	営業利益率	6.0%	6.2%		
その他	売上高	71	46	-25	64.5%
	営業利益	-14	-8	6	-
	営業利益率	-	-		
調整額	営業利益	-31	-31	-0	-
合計	売上高	1,369	1,327	-43	96.9%
	営業利益	103	95	-9	91.8%
	営業利益率	7.6%	7.2%		

- 2026年3月期より、従来「システム」セグメントに計上していた事業を「その他」セグメントとの合算表記に変更したため、前期実績についても同様のセグメント区分で記載
- 当該2026年3月期上期の「その他」に含まれる非継続事業：売上高17億円、営業利益-11億円

全社連結実績

単位：億円

	第2四半期（7月～9月）		前年同期比	
	2024年度実績	2025年度実績	増減	増減率
売上高	717	705	-13	98.2%
営業利益	58	58	-1	99.1%
営業利益率	8.1%	8.2%		
経常利益	44	64	20	145.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	※ -26	43	69	-
1株利益（円）	-11.37	18.98		

※構造改革に伴う特別損失を計上

平均為替 レート （円）	米ドル	149.4	147.5
	ユーロ	164.0	172.3
	人民元	20.8	20.6

セグメント別実績

単位：億円

		第2四半期（7月～9月）		前年同期比	
		2024年度実績	2025年度実績	増減	増減率
時計	売上高	445	462	17	103.8%
	営業利益	63	65	2	103.9%
	営業利益率	14.2%	14.2%		
コンシューマ	売上高	233	223	-10	95.7%
	営業利益	15	14	-1	94.6%
	営業利益率	6.6%	6.5%		
その他	売上高	40	20	-20	50.7%
	営業利益	-4	-3	1	-
	営業利益率	-	-		
調整額	営業利益	-16	-19	-3	-
合計	売上高	717	705	-13	98.2%
	営業利益	58	58	-1	99.1%
	営業利益率	8.1%	8.2%		

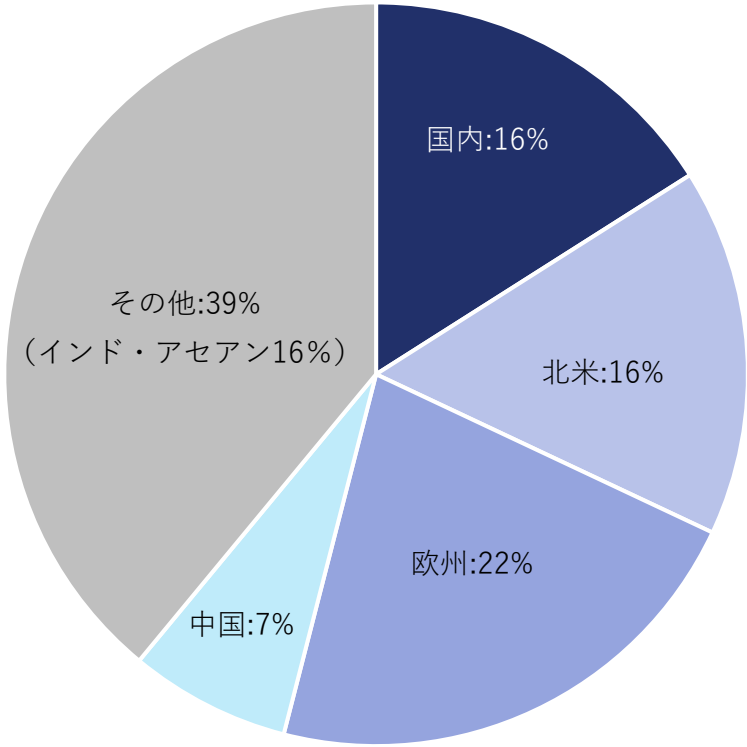
- 2026年3月期より、従来「システム」セグメントに計上していた事業を「その他」セグメントとの合算表記に変更したため、前期実績についても同様のセグメント区分で記載
- 当該2026年3月期第2四半期の「その他」に含まれる非継続事業：売上高5億円、営業利益-5億円

単位：億円

	第2四半期（7月～9月）		上期（4月～9月）		上期計画 （2025年8月公表）
	前期	今期	前期	今期	
売上高	445	462	854	857	830
営業利益率	14.2%	14.2%	14.3%	12.6%	11.7%

- 中国市場は低調も、他の地域が好調に推移し計画対比で上振れ
- CASIO WATCHがグローバルで好調を維持

地域別売上高



※第2四半期実績(7月～9月)

前年同期比（現地通貨ベース）全体：+3%

国内：+1%

- CASIO WATCHの販売拡大
- インバウンド比率は対前年で微増

北米：+5%

- 価格改定前の駆け込み需要あり
- ECは好調継続

欧州：+6%

- スペイン、ポルトガルが好調を牽引
- Central Cee販促効果で『GA-2100BM』好調
- G-SHOCKに続きCASIO WATCHの貢献で好調継続

中国：-20%

- 引き続き経済の見通し不透明感が消費行動に影響

その他：+6%

- 注力地域のインドはアンバサダー活用のG-SHOCKマーケティング拡大を継続
オンライン／オフラインともに好調
- アセアンではフィリピンやベトナムが好調
昨年底調だった香港も需要回復傾向
- ラテンアメリカや中近東も堅調に推移

G-SHOCK比率（BABY-G含） 約42%（メタル約12%・プラスチック約30%）

G-SHOCK売上個数 約175万個（内BABY-G 約15万個）※前期2Q約205万個（内BABY-G 約20万個）

G-SHOCK（メタル・MR-G）

- 初号機「DW-5000C」のデザインをフルメタル化した『GMW-B5000D』は国内を中心に好調継続
- カラーダイアルの『GM-2110D』は、トレンドのスカイブルーモデルなどがグローバルで人気
- 最上級ラインMR-G『MRG-B5000HT』は日本の伝統工芸との融合が高く評価され、¥935,000と高価格帯ながら限定数が早々に完売



『GMW-B5000D』



『GM-2110D』



MR-G
『MRG-B5000HT』

G-SHOCK（プラスチック）

- 八角形フォルムの『GA-2100』はグローバルで高い人気を博し、安定的に推移
- 初号機のデザインを継承したスクエアフェイス5600シリーズのマルチバンド6搭載モデル『GW-M5610U』は欧州、国内を中心に好調
- トレーニングに役立つ機能を備えた『GBD-200』は欧州、その他地域で好調継続



『GA-2100』



『GW-M5610U』



G-SQUAD
『GBD-200』

CASIO WATCH・EDIFICE他

- 軽くシンプルなデジタルウォッチ『A168WG』や、スタンダードな三針アナログモデル『MTP-1302』など、CASIO WATCHがグローバルで好調継続
- 当社の時計として初めて機械式ムーブメントを搭載したEDIFICE『EFK-100』がグローバルで堅調
- ハーフマット調のグラデーション仕上げで独特の光沢感を備えたダイアルが特長のOCEANUS『OCW-S7000RA』が国内で好調



CASIO WATCH
『A168WG』



CASIO WATCH
『MTP-1302』



EDIFICE
『EFK-100』



OCEANUS
『OCW-S7000RA』

■EdTech（教育）

	第 2 四半期（7月～9月）		上期（4月～9月）		上期計画 （2025年8月公表）
	前期	今期	前期	今期	
売上高	174	166	341	329	350
営業利益率	14.4%	12.3%	14.1%	13.0%	14.3%

単位：億円

【2Q実績】		
売上高	： 関数・一般電卓	約90% 電子辞書他 約10%
営業利益率	： 関数・一般電卓	16.6%
営業利益	： 電子辞書他	約-4億円

- その他地域の一部で生じた期ずれの影響などにより、計画対比ではやや下振れ

【上期実績】		
売上高	： 関数・一般電卓	約88% 電子辞書他 約12%
営業利益率	： 関数・一般電卓	17.5%
営業利益	： 電子辞書他	約-8億円

■サウンド（楽器）

	第 2 四半期（7月～9月）		上期（4月～9月）		上期計画 （2025年8月公表）
	前期	今期	前期	今期	
売上高	59	57	104	95	100
営業利益	-10	-6	-22	-17	-12

単位：億円

- 国内復調傾向も、グローバルでは依然厳しい環境が継続

2026年3月期 通期業績見通し

全社連結計画

単位：億円

	2025年 3月期 通期実績	2026年3月期			
				通期 計画	対前年 増減率
		上期実績	下期計画		
売上高	2,618	1,327	1,373	2,700	103.1%
営業利益	142	95	115	210	147.5%
営業利益率	5.4%	7.2%	8.4%	7.8%	
経常利益	141	107	98	205	145.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	81	81	69	150	186.0%
1株利益（円）	35.22	35.30	30.46	65.76	

下期想定為替レート（円）	
米ドル	145
ユーロ	170
人民元	20.5

セグメント別計画

単位：億円

		2026年3月期			
		通期計画			対前年 増減率
		上期実績	下期計画		
時計	売上高	857	903	1,760	105.9%
	営業利益	108	127	235	115.9%
	営業利益率	12.6%	14.1%	13.4%	
コンシューマ	売上高	424	446	870	106.0%
	営業利益	26	29	55	254.2%
	営業利益率	6.2%	6.5%	6.3%	
その他	売上高	46	24	70	-
	営業利益	-8	-12	-20	-
調整額	営業利益	-31	-29	-60	-
合計	売上高	1,327	1,373	2,700	103.1%
	営業利益	95	115	210	147.5%
	営業利益率	7.2%	8.4%	7.8%	

【コンシューマの事業別計画】

単位：億円

		上期実績	下期計画	通期計画
EdTech	売上高	329	311	640
	営業利益	43	32	75
	営業利益率	13.0%	10.4%	11.7%
サウンド	売上高	95	135	230
	営業利益	-17	-3	-20
	営業利益率	-	-	-

・2026年3月期通期計画の「その他」セグメントに含まれる非継続事業：売上高25億円、営業利益-20億円

G-SHOCK×CASIO WATCHの2軸で事業拡大

G-SHOCK

G-SHOCKの価値を再訴求し、新機軸での商品提案

プレミアムライン

高価格帯

- ・外装品質に徹底的にこだわった商品
- ・AIとの共創による新たな独自デザイン



メタルライン

中高価格帯

- ・ビジュアルクオリティを高める技術開発
- ・トレンドを取り入れた新商品



エントリーライン

低中価格帯

- ・売れ筋モデルへの継続注力
- ・G-SHOCKの価値を若年層に再度訴求するグローバルマーケティング
- ・アイコンックモデルのデザインを活かした機能、素材、デザインの進化



CASIO WATCH

ワールドワイドで好調。新たなファン層を獲得
販路／エリア拡大と高単価化により縦横で事業拡大



- ・機能追加による高単価化
- ・フルメタルプレミアムラインの拡大



- ・トレンドに合致した商品



- ・販路／エリア拡大による販売拡大

新製品トピックス



指輪サイズのG-SHOCK



GA-V01新カラー



“サ時計”の一般発売



エヴァンゲリオンとの
コラボモデル



映画『バック・トゥ・ザ・フューチャー』との
コラボモデル



G-SHOCKブランディング

- NIGOデザインG-SHOCKキャラクター展開

NIGO : G-SHOCK



GA-110



DW-5000/5600



DW-6900



GA-2100

キャラクターのベースとなったアイコンックモデル

G-SHOCK
ICONIC STYLES

市場特性×ターゲットユーザーに向けたマーケティング活動

グローバルマーケティング

XGをG-SHOCKのグローバルアンバサダーに起用

- 背景) ・ Z世代における広い支持
・ G-SHOCKのアイデンティティである「NEVER GIVE UP」と自然に重なる活動スタンス
- 活動) ・ Z世代に向けたブランドフィロソフィーのグローバル発信



G-SHOCK | **XG**



グローバルアンバサダーの“XG”

エリアマーケティング

- ・ **欧州** 汎欧州アンバサダーのCentral Cee×各国ローカルアンバサダーを活用したG-SHOCKマーケティング
- ・ **インド** 2大アンバサダーの継続活用、大都市から地方都市へタッチポイントの増大
- ・ **韓国** 韓国有数のショッピングエリアに専売店をオープンカフェを併設し、時計だけでなくライフスタイルも発信



韓国有数のショッピングエリアにカフェ併設の専売店オープン
トラフィック、売上ともに好調

EdTech（教育）

■ 関数電卓

- ◆ New ClassWizの販売拡大継続
- ◆ 模倣品の取締り強化を対策国の関係機関と連携、正規品シェア拡大
- ◆ 重点国での需要創造／普及拡大活動の継続強化
 - ・ インドネシア／エジプトでの、令和7年度 文部科学省「日本型教育の海外展開（EDU-Portニッポン）」応援プロジェクト推進中
 - ・ エジプトの教育・技術教育省と数学教育の向上に向けた覚書を締結



■ 一般電卓

◆ 電卓60周年記念

- ・ イベントを通じて、カシオ電卓の歴史と進化を伝え、それを店頭構築にまで繋げ売上拡大をはかる

■ 教育アプリ

- ◆ ClassPad.netの基本性能強化を継続
- ◆ Libry サービスとの相乗効果により利活用校の拡大  Q.Bank
 - ・ Libryとカシオが共同開発する、クラウド上で試験問題や補助教材が作成できる新ツール「Q.Bank」の提供（2026年3月）を発表

サウンド（楽器）

- ◆ 高付加価値ジャンルのブランド認知拡大の取り組み継続
- ◆ 新技術を活用した新たな体験価値創造
- ◆ 構造改革の継続（ラインアップ半減、不採算エリア撤退の検討継続）
- ◆ 「明子さんのピアノ」デジタル音源化プロジェクト
 - ・ 世界的ピアニストのマルタ・アルゲリッチ氏、酒井茜氏、角野隼斗氏による「被爆80周年 Music for Peace 『明子さんのピアノ』支援コンサート」と連動して、被爆ピアノ「明子さんのピアノ」の響きを未来へ継承するデジタル音源化プロジェクトを実施

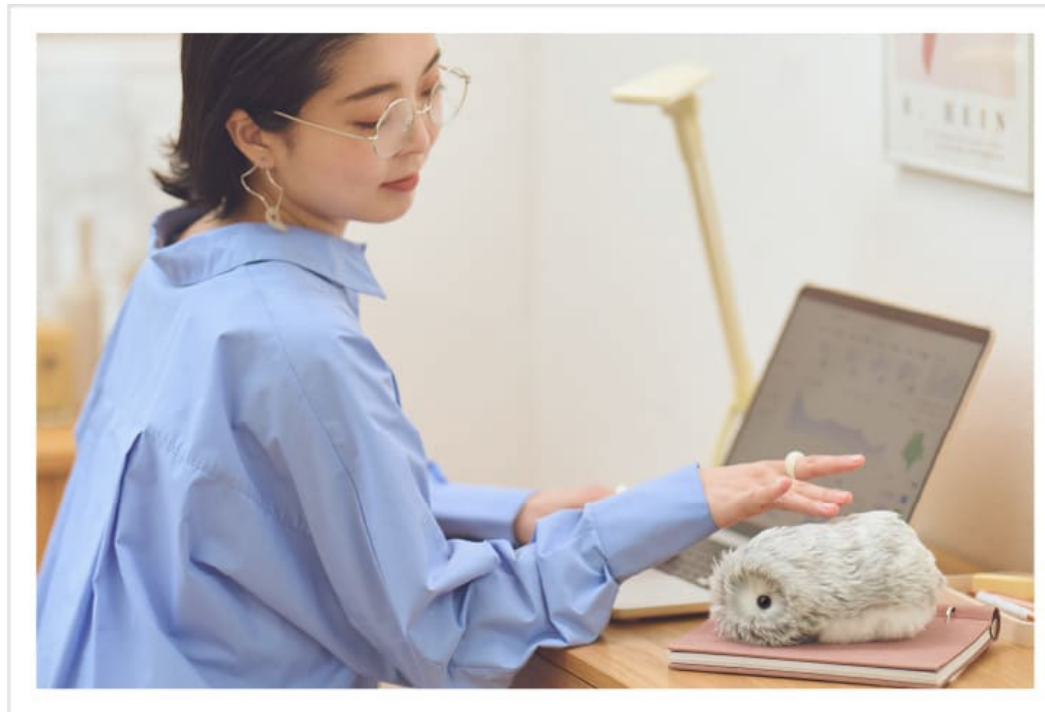


※「明子さんのピアノ」は、広島で被爆したアップライトピアノ。
現在は広島市平和記念公園レストハウス内に常設展示されており、「平和へのメッセージの象徴」として、マルタ・アルゲリッチ氏をはじめとする世界的ピアニストによって、国内各地のコンサートで演奏されている

角野隼斗氏、酒井茜氏、マルタ・アルゲリッチ氏

Moflin

- AIペットロボット“Moflin（モフリン）”は、国内で2024年11月より販売開始、当初の想定よりも幅広いユーザー層に受け入れられ、販売好調
- 2025年10月よりアメリカ、イギリスでの販売を開始



こころであういきもの

Moflin

Moflin（モフリン）はいきもののような心を持ち、

心に元気をくれるバディ。

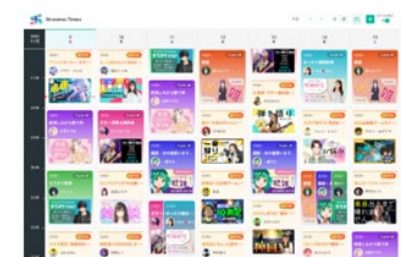
人とふれあうことで感情が育つ

AIペット（コミュニケーションロボット）です。



クリエイターエコノミー領域

- AIで効果音が生成できる「Waves Place」とライブ配信専用スケジューラー「Streamer Times」を正式リリース
- TieUps株式会社（共創プラットフォームを開発、運営）と資本業務提携契約締結、共同でライバー（ストリーマー）育成プログラムの開始⇒新たなライブ配信市場を創出



※クリエイターエコノミー：消費者である個人がクリエイターとしてもインターネット上でコンテンツやオリジナル商品を製作・発信し収入を得ることが出来る双方向の経済圏

補足資料

当社製品が「2025年度グッドデザイン賞」を受賞



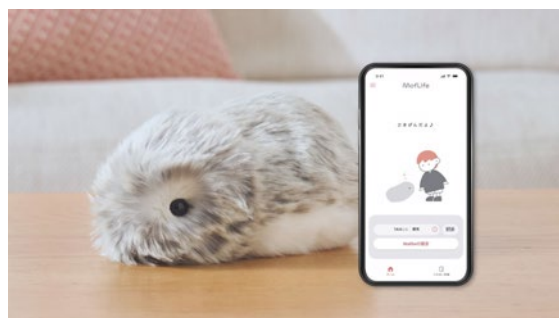
“G-SHOCK” 「GA-V01」



“サ時計”
「SAN-100H」



“PRO TREK” 「PRJ-B001」



“Moflin”



電子辞書 “EX-word” 「XD-SA」 シリーズ

当社の5製品が公益財団法人日本デザイン振興会主催の
「2025年度グッドデザイン賞」（Gマーク）を受賞

サウナー専用腕時計“サ時計”の一般販売開始



昨年市場調査も兼ねて、応援購入サービス“Makuake（マクアケ）”でクラウドファンディングを実施し、開始10分足らずで上限個数に到達したサウナ用ウォッチ『サ時計』を一般発売

高温・高湿に強く、視認性に優れた時刻表示と12分計をワンプッシュで切り替えられるシンプルな機能を備える

「The Sandbox」 と“G-SHOCK”がコラボした メタバース体験を提供



“G-SHOCK”の「VIRTUAL G-SHOCK」プロジェクトの一環として、Web3ゲーミングメタバース「The Sandbox（ザ・サンドボックス）」とコラボレーションし、“G-SHOCK”の世界観を体感できる無料ゲームを展開するほか、限定のAvatarやNFTアイテム等を販売

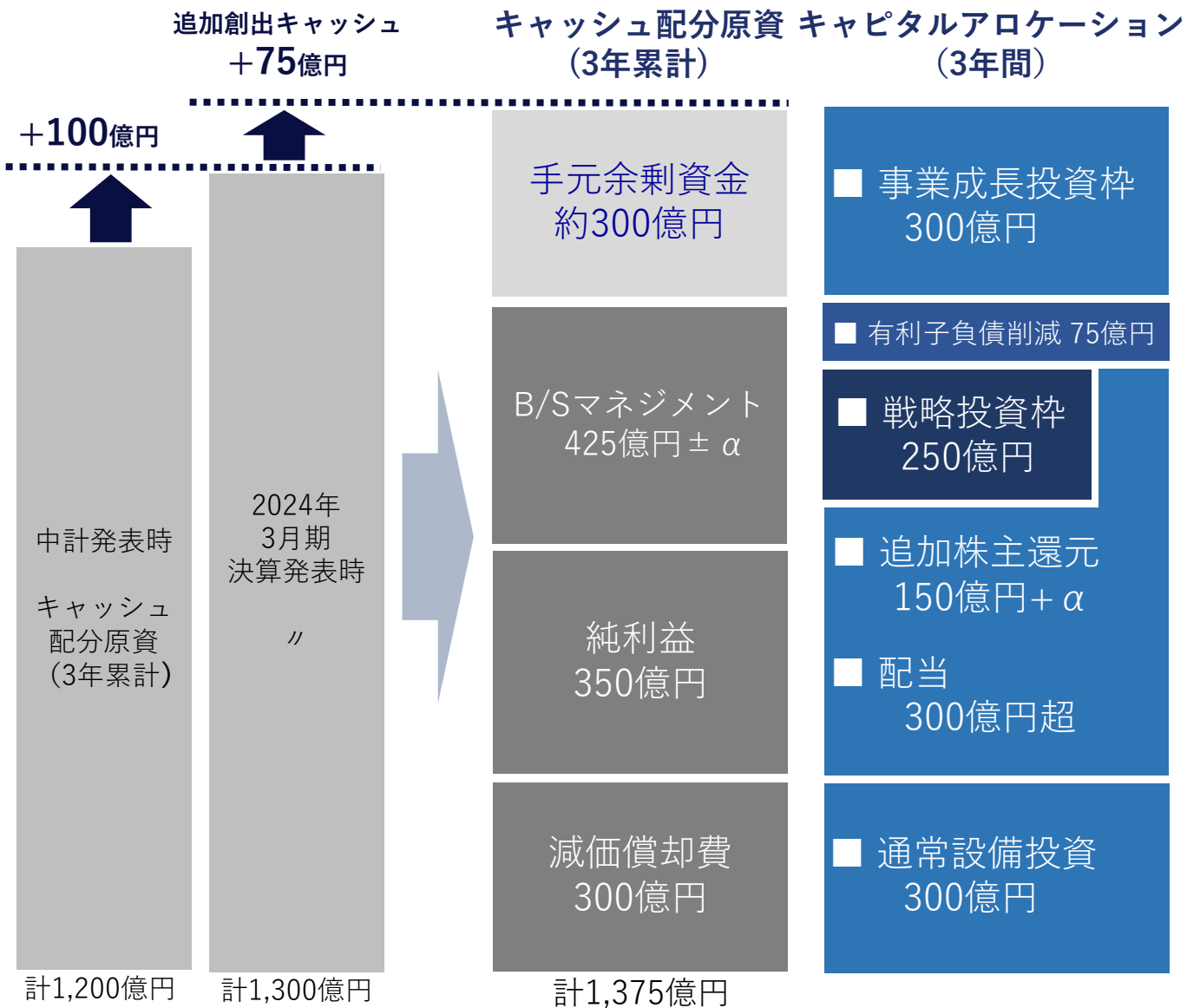
今後も“G-SHOCK”は、バーチャル領域ならではの新たなユーザー体験を通じて、既存のファンはもちろん、新たなユーザーにも“G-SHOCK”の魅力を身近に感じられる機会を提供する

CDP「サプライヤーエンゲージメント・リーダー」に選定



当社は、国際的な環境非営利団体であるCDP※が企業のサプライチェーンにおける気候変動問題への取り組みを評価するSEAの2024年調査において、最高評価であるA評価を受け「サプライヤーエンゲージメント・リーダー」に選定された

※ 環境影響に関する企業や自治体の情報開示を促す非営利団体。世界で唯一の独立した環境情報開示システムを運営



【基本方針（変更なし）】

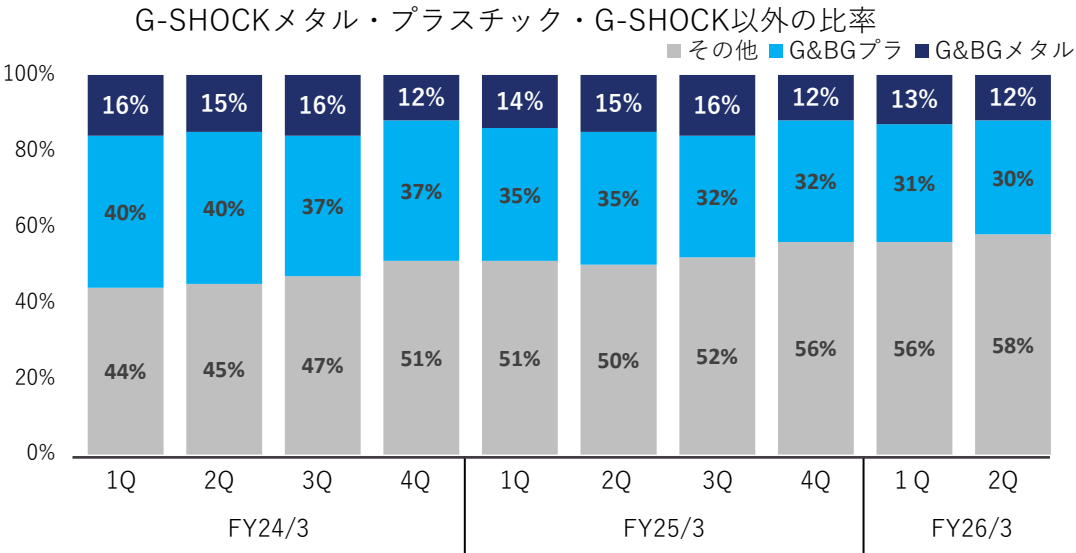
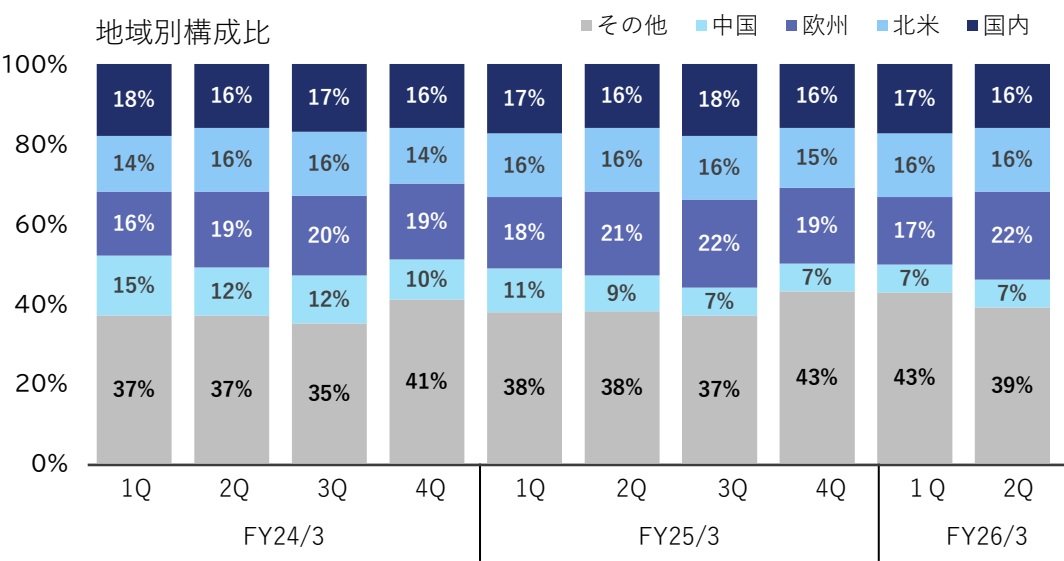
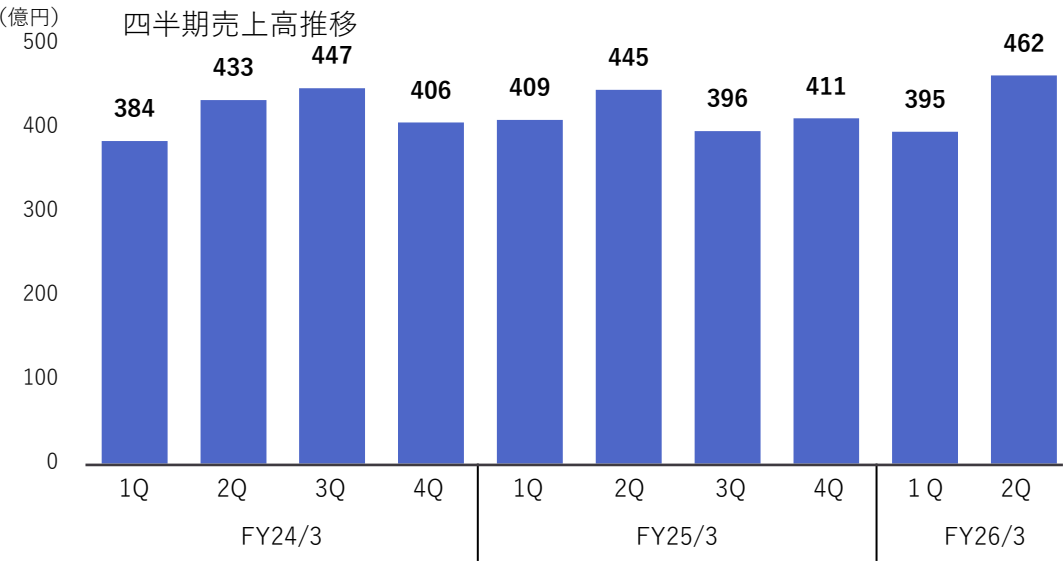
- ・ コア事業への投資促進のため『事業成長投資枠』設定
 - ・ アライアンス等のための『戦略投資枠』設定
⇒ 未使用分は追加株主還元を検討
 - ・ 余剰資金をキャッシュ配分原資として活用
 - ・ B/Sスリム化、及び株主還元強化により資本収益性の改善を図る
- ※『成長投資枠』の経費処理分は純利益を構成する為、キャッシュとして回収、翌期以降の成長投資枠に充当

【進捗状況】

- 戦略投資枠はLibry社(デジタル教材)、AIQ社(ソーシャルメディア分析)に続き、コミュニケーションテック事業のTieUps社へ出資、協業により新規事業の成長を加速。

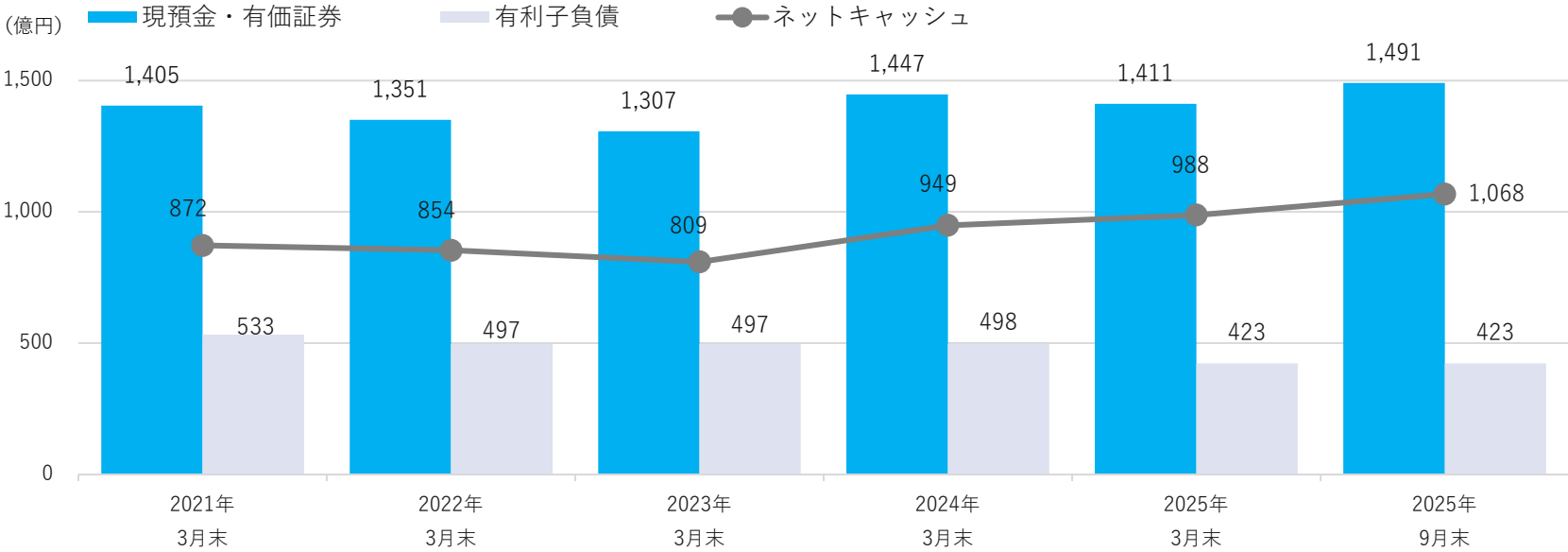
	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績		2026年3月期 目標
ROE	5.3%	3.6%	➡	7～8%水準
ROIC	3.6%	3.6%	➡	約6%
ROIC = 税引後営業利益 ÷ 期首期末平均投下資本(有利子負債+純資産)				
手元流動資金	1,447億円	1,411億円	➡	1,000億円水準
自己資本比率	66%	66%	➡	60%強
(中計3年間平均)				
配当性向	88.4%	127.8%	➡	80%水準
DOE	4.7%	4.6%	➡	5%水準
総還元性向	164.1%	183.3%	➡	120%～180%

		為替感応度 1円（人民元は0.1円）の変動による影響額	
下期想定為替レート（円）		売上高	営業利益
米ドル	145	10億円	-0.5億円
ユーロ	170	3.0億円	2.0億円
人民元	20.5	1.0億円	0.5億円



単位：億円

	2021年3月期 3月末	2022年3月期 3月末	2023年3月期 3月末	2024年3月期 3月末	2025年3月期 3月末	2026年3月期 9月末
資産合計	3,320	3,373	3,352	3,499	3,316	3,366
負債合計	1,201	1,184	1,136	1,187	1,127	1,125
自己資本比率	63.8%	64.9%	66.1%	66.1%	66.0%	66.6%
D／Eレシオ	0.25	0.23	0.22	0.22	0.19	0.19
現預金・有価証券	1,405	1,351	1,307	1,447	1,411	1,491
有利子負債	533	497	497	498	423	423
ネットキャッシュ	872	854	809	949	988	1,068



本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

The image features the Casio logo in white, bold, sans-serif capital letters, centered horizontally. The background is a dynamic composition of overlapping, rounded, organic shapes in various shades of blue, ranging from a deep navy to a lighter, almost white blue. The shapes create a sense of movement and depth, with some areas appearing more prominent than others. The overall aesthetic is modern and clean.

CASIO®